

渋谷自在—無限、あるいは自己の領域

東京文化プログラム

Shibuyajizai—Infinity, or Self-Territory

2017年7月29日（土）～9月17日（日）

トーキョーワンダーサイト渋谷、最後の展覧会！！

2001年より若手アーティストの発掘、育成、支援を行っているトーキョーワンダーサイト（TWS）の2館目として2005年に開館したTWS渋谷。国内外のオルタナティブスペースや国際的な芸術文化機関との連携プロジェクトをはじめ、国際的に活躍する海外のクリエイターや日本の若手クリエイターを紹介し、既存の美術館やギャラリーの枠組みを超えたスペースとして活動してきました。このたび2017年10月に、新たな展開を見据え、東京都現代美術館が運営する新施設として再整備します。

TWS渋谷最後となる本展では、自身の身体を起点として世界を測り、美術の枠に囚われずその表現領域を拡張している3名の作家を紹介します。私たちは、常にあらゆる物事を分類し、そこに自らを所属させて生活をしています。身分や職業、人種、国境のように、時に他者との間に境界線を引くことで、自分の存在を守り、安心感を得ます。しかし、その安心と引き換えに、自らの自由を手放しているのではないのでしょうか。2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、現在も街として更新を続ける渋谷。過去と未来が交錯する場所で、社会に対峙する私たちへ「自」らの「在」り方を問いかけます。

■ 展覧会概要

展覧会名：渋谷自在—無限、あるいは自己の領域
会期：2017年7月29日（土）～9月17日（日）
会場：トーキョーワンダーサイト渋谷（東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F）
開館時間：11:00～19:00（最終入場は30分前まで）
休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）
入場料：無料
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 育成支援課
クリエイター：大野茉莉、西原尚、潘逸舟
ウェブサイト：<http://www.tokyo-ws.org>

<お問い合わせ>

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 育成支援課
トーキョーワンダーサイト 広報担当：市川、藤井

* トーキョーワンダーサイトは、平成29年4月より東京都現代美術館育成支援課として事業運営を行っています。
* トーキョーワンダーサイトは、平成29年10月1日より「トーキョーアーツアンドスペース」に名称を変更します。

■ オープニング・トーク ※予約不要／入場無料

日時：7月29日（土）16:00～18:00

会場：トーキョーワンダーサイト渋谷

参加クリエイター：大野茉莉、西原 尚、潘 逸舟

■ クロージング・イベント ※予約不要／入場無料

日時：9月17日（日）19:00～20:30（予定）

会場：トーキョーワンダーサイト渋谷

* 詳細が決まり次第、TWS ウェブサイトでお知らせします。

■ 展覧会のみどころ

本展で紹介する3名は、トーキョーワンダーサイトの「トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル」や「レジデンス・プログラム」に参加した若手アーティストです。

大野茉莉は「人間の知覚」や「自然／生命現象」をテーマに、インスタレーションやパフォーマンスなど、音を軸とした作品を発表しています。音の現象的な特性と、自然のプロセスや要素の持つ特性を、時間と空間を用いて表現します。作品を通して自然と人工的な世界の関係性を考察します。

西原尚は楽器や木材、金属など見慣れたものを素材にして、聞いたことのないような音を作り出して好奇心をくすぐり、聴衆の可能性を追求する作品制作やパフォーマンスを行っています。モノ／身体を介して生み出された音が人にどのように届くのかを実験するなど、音と視覚、身体を使った表現を試みます。

潘逸舟は上海に生まれ、9才の時に青森県に移り住みました。「アイデンティティ」をテーマとして自分の身体を用いたパフォーマンスの要素を併せ持つ映像を軸に、「境界」や「領域」を探る作品を制作しています。作品を通して社会の中での自己と他者の関係性を浮かびあがらせます。



西原尚パフォーマンス風景
「トーキョー・ストーリー2015」 (TWS 本郷)

■ クリエータープロフィール

大野茉莉 | Mari Ohno

「トーキョー・エキスペリメンタル・フェスティバル Vol.8」TEF サウンド・インスタレーション部門参加

1984 年生まれ。ロンドンを拠点に活動。ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ博士課程在籍。

主な展覧会に「Fluid Matter, Liquid and Life in Motion」(MU、アイントホーフェン、オランダ、2016-2017)、「アートと音楽ー新たな共感覚をもとめて」(東京都現代美術館、2012)など。

Cafe OTO/Sound and Music Embedded (イギリス、2015)、文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品(文化庁、2014)に選出。



©Fluid Matter, Liquid and Life in Motion
写真 : Hanneke Wetzter

西原 尚 | Nao Nishihara

「平成 26 年度 二国間交流事業プログラム<ベルリン>」参加

「トーキョー・エキスペリメンタル・フェスティバル Vol.8」TEF サウンド・インスタレーション部門 特別賞受賞

1976 年生まれ。神奈川県を拠点に活動。2011 年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。

主な展覧会に「Cyber Art Festival 10」(サンクトペテルブルグ、ロシア、2017)、「Ende Tymes VI」(Knockdown Center、ニューヨーク、2016)、「六本木クロッシング 2016」(森美術館、東京)、主なパフォーマンスに「Experimental Intermedia」(ニューヨーク、2016)、「Issue Project Room」(w/ Aki Onda、ニューヨーク、2016)、「Destination of the Stone(石の行方)」(w/ 田中泯、石原淋、プラハ・アルカ・シアター、2016)など。

ACC グランティー(2015)受賞。



TV ニュース ロシア 1 チャンネル
2017、テレビ電波、可変
<https://www.1tv.ru/news/2017/01/26/>

潘 逸舟 | Ishu Han

「平成 25 年度 二国間交流事業プログラム<メルボルン>」参加

「平成 24 年度 国内クリエイター制作交流プログラム」参加

1987 年生まれ。東京都を拠点に活動。2012 年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。

主な展覧会に「The Drifting Thinker」(MoCA パピリオン、上海、2017)、「ESCAPE from the SEA」(National Visual Arts Gallery、クアラルンプール、2017)、「Sights and Sounds: Highlights」(ジューイッシュ・ミュージアム、ニューヨーク、2016)など。

ACC グランティー(2014)、新鋭賞(展覧会「在地未来」、何香凝美術館、中国、2013)受賞。

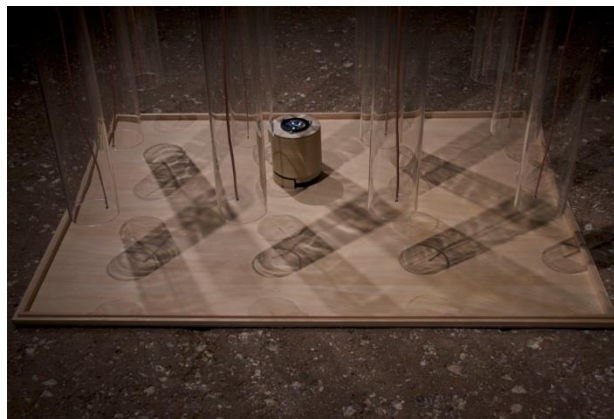


広報用画像

※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。



1 大野茉莉
《cells》 2016 サウンド・パフォーマンス
写真：Eungyeong Lee



2 大野茉莉
《acoustic cluster》 2013 インスタレーション
写真：山形一生



3 西原 尚
《プリンプリン》 2016 ミクストメディア
展示風景：「六本木クロッシング 2016 展：僕の身体、あなたの声」（森美術館）
写真：船木和倅



4 西原 尚
《ドラム缶》 2017 ドラム缶、モーター、車輪、ゴムボール、アルミニウム棒、木材
展示風景：「CYFEST 10」（St. Petersburg Stieglitz State Academy of Art and Design、2017）



5 潘 逸舟
《Musical Chairs》 2015 映像インスタレーション、スクリーン
写真：山本 糾



6 潘 逸舟
《海で考える人》 2016 映像

「渋谷自在 —無限、あるいは自己の領域」
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5633-6374**

Email: **press@tokyo-ws.org**

トーキョーワンダーサイト広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請し直してください。

※画像は、メールにてデータをお送りします。お手元に届くまでのお時間を2~3日ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像は、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web でのご掲載は、画像1コピーガードや転載不可の明記などを施してください。

※事前に記事原稿を拝見させていただきますよう、お願いします。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 育成支援課

トーキョーワンダーサイト 広報担当:市川、藤井

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 / E-mail: press@tokyo-ws.org